

「第10回シーティングエンジニア養成講習会および認定試験」実施要項

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会
講習委員会・SE養成講習会実行委員会

本養成講習会は、車椅子や姿勢保持装置などのシーティングを適切に供給できる、高い適合技術をもった技術者を養成することを目的としています。あわせて認定試験を実施し、技術専門職「シーティングエンジニア」として協会で認定していくものです。シーティングエンジニアの具体的なレベル設定としては、「シーティングカンファレンスに参加して、協議されている内容を理解し、製作ならびに選定・調整に必要な情報を得ることができ、装置を企画し技術的提案ができる者」と考え、企画・計画しています。

車椅子・シーティングに関わる業務としては、「重度の障害者のフルオーダーの姿勢保持装置の製作」から、「モジュラータイプの製品を利用した車椅子の選定・調整」までスタイルは様々です。このため本養成講習会は、「車椅子・シーティングに携わり適合性の向上を目指すにあたっては、シーティングの知識・技術の全体を把握しておくことがとても重要」という観点で計画し、カリキュラムの構成も全体的なバランスを考えたものとしています。

このような考えのもと、本協会が目指すシーティングエンジニアを養成するために、本養成講習会は「評価」・「シーティングの基本的な考え方」から「シミュレーション・適合の実技」をとおりシーティングの知識・技術の全体を把握し、最終的には「症例シーティング演習(具体的な事例をもとに、ケース毎に姿勢を決定し具体的な装置をイメージしていく演習)」にて装置を企画し技術的提案をしていくことに重点をおいた内容としています。(実業務におきましては、姿勢を決定し具体的な装置をイメージした後に、個別に製作してアプローチする方法と、装置もしくは部品を選定・調整してアプローチする方法とを、どのように選択して取り入れていくのかが決定されます。)

また、実技・実習・演習の講義においては、少人数の班分けを行うとともに講師のほか各班に講師助手を1名ずつ配置し、講義をスムーズにかつ内容濃く進行していけるよう配慮しています。

受講・受験を希望される場合は、以下の実施概要ならびに別紙のカリキュラム、講義内容を確認の上、「受講・受験申請書」にて申請を行ってください。

<実施概要>

1. 主催

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会

2. 共催(予定)

社会福祉法人 横浜市リハビリテーション事業団

3. 後援(予定)

厚生労働省

公益財団法人 テクノエイド協会

一般社団法人 日本義肢協会

一般財団法人 啓成会

4. 日程および会場

(1) 講義動画のオンデマンド配信

日程(予定): 2023年11月1日(木)～25日(土) <25日間>

会場: オンデマンド配信(動画配信プラットフォーム UIshare)

(2) 集合講習ならびに認定試験

日程: 2023年11月23日(祝木)～25日(土) <3日間>

会場: 横浜市総合リハビリテーションセンター(神奈川県横浜市港北区鳥山町1770番地)

5. 受講および受験資格

<シーティングエンジニア養成講習会 受講資格>

車椅子・シーティングに関わる実務経験を有し、下記①～④のいずれかに該当する者。

a. 実務経験は、車椅子または座位保持装置の製作・選定・調整・適合・処方・支給判定等、いずれかの業務に該当するものとします。

b. 実務経験事例報告1例を **2023年10月30日(月)まで**に提出して下さい。

・記入用紙および記入例は協会ホームページ (<https://j-aws.jp/>)「講習会のご案内」からダウンロードを行って下さい。

・実務経験事例として、対象ケースでの姿勢を保持するうえでの問題点と、それに対してどのように対応・対策を行ったかの概要を記入して下さい。

c. 下記①～③の講習会・セミナーの修了証又は認定証、もしくは④の国家資格免許証の写しを申込書とともに **FAX** して下さい。

①(公財)テクノエイド協会 主催「車椅子姿勢保持基礎講習(障害分野/高齢分野)」、(旧)車いす姿勢保持協会ならびに(一社)日本車椅子シーティング協会 主催「車椅子・シーティング基礎講習会」、(旧)NPO法人 福祉用具適合技術協会 開催「姿勢保持講習会」のいずれかを修了した者。(当年度実施分の修了見込み者を含む)

②上記、①の講習会と同等とみなされる次のイまたはロの講習を修了した者。

イ.(一財)啓成会「車いす・シーティング製作技能養成コース」

ロ.(公財)テクノエイド協会「福祉用具プランナー管理指導者養成研修」

※上記研修にて、車椅子・シーティング基礎講習に該当する全科目を履修した者。

③(一社)日本義肢協会主催「座位保持装置製作者認定セミナー」認定試験に合格した者。

④下記いずれかの国家資格を有する者。

医師、理学療法士、作業療法士、義肢装具士

<シーティングエンジニア認定試験 受験資格>

シーティングエンジニア養成講習会を修了した者

6. 募集定員: 35名(5班*7名)

※募集期間中でも定員に達した場合は締切りとなる場合があります。

また、応募者が最小開催人数(28名)に満たない場合は延期または中止とする場合があります。

7. 募集期間：～2023年10月16日（月）16時必着

8. 受講・受験料

養成講習会 受講料 70,000 円 （日本車椅子シーティング協会会員は 60,000 円）

認定試験 受験料 10,000 円 （認定試験を受験しない場合は必要ありません）

※別途、11/24～11/25 の昼食弁当代 2 食分（お茶付）：2,000 円（税込）が必要となります。

※受講申請後、顔写真データの提出が必要となります。

※養成講習会テキストとして「車いす・シーティングの理論と実践」（はる書房）を使用しますので、お持ちでない方は別途購入が必要となります。

※当協会での宿泊の用意はありませんので、必要な場合は各自で手配して下さい。

9. 養成講習会の内容

別紙1カリキュラムならびに別紙3講義内容に見るとおり。

10. 受講・受験申請方法

受講・受験を希望する方は募集期間中に「受講・受験申請書」を協会事務局へメールまたはFAXで送信して下さい。（スマートフォン等で撮影した画像ファイルでの申請は不可）

受付完了後、申込書に記載のメールアドレス宛てに手続き方法等についての案内を送信します。

11. 新型コロナウイルス感染拡大防止について

- ・感染状況等により、実施を中止する場合があります。
- ・受講および受験の際は受付時の検温、マスクの着用、手指の消毒、その他必要な措置を行いますので、ご協力下さい。
- ・37.5度以上の発熱や咳、喉の痛み、倦怠感等息苦しさ等、感染が疑われる症状がある場合は受講・受験を取りやめて下さい。

（問合せ 及び 申込書等提出先）

一般社団法人 日本車椅子シーティング協会 事務局
〒105-0013 東京都港区浜松町 2-7-15 浜松町三電舎ビル 2F
TEL:03-6435-0365 FAX:03-6435-0366 E-mail: info@j-aws.jp

2023年度「第10回シーティングエンジニア養成講習会および認定試験」
履修科目および履修時間

【オンデマンド動画講習科目】

No.	オンデマンド動画講習科目	講師	履修時間 (時間)
①	シーティングエンジニアの意義と役割	高岡 徹 (横浜市総合リハビリテーションセンター センター長/医師)	1.0
②	障害当事者にとって、車椅子とは何か	毛利 公一 (社会福祉法人 ラーフ 理事長)	1.0
③	シーティングクリニック(チームアプローチの重要性)	飯島 浩 (横浜市総合リハビリテーションセンター/シーティングエンジニア、リハビリテーション工学技師)	1.5
④	評価	岸本 光夫 (重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎 リハビリテーション部長/作業療法士)	1.5
⑤~⑥	シーティングにおける考え方とポイント1~2	西方 倫彰 (株式会社きさく工房 代表取締役/シーティングエンジニア)	3.0
⑦	フレーム構造と機能	本郷 正徳 (株式会社ジェー・シー・アイ 車いす事業部 車いす営業課 課長代理/シーティングエンジニア)	1.5
⑧	褥瘡予防と高齢者のシーティング	木之瀬 隆 (株式会社シーティング研究所 代表取締役/作業療法士)	1.5
⑨	アクティブユーザのシーティング	芝崎 泰造 (三貴ホールディングス株式会社 FORCE 事業部長)	1.5
オンデマンド動画講習科目 合計			12.5

【集合講習科目】

No.	集合講習科目	講師	履修時間 (時間)
⑩	倫理とモラル	寺光 鉄雄 (一般社団法人全国福祉用具人材育成協会 代表理事/ 福祉用具プランナー管理指導者、介護支援専門員)	1.5
⑪	身体支持部 ウレタン削りと張り調整 (実習)1 張り調整	山崎 雅幸 (株式会社シーズ 取締役/シーティングエンジニア)	1.5
⑫	シミュレーション 採寸(実習)	中山 康仁 (株式会社きさく工房 シーティング・車いす課 係長/シーティングエンジニア)	1.5
⑬	身体支持部 ウレタン削りと張り調整 (実習)2 ウレタン削り	田中 章宏 (有限会社であい工房/シーティングエンジニア)	1.5
⑭~⑰	シミュレーション 採型(実習)1~4	西方 倫彰 (株式会社きさく工房 代表取締役/シーティングエンジニア)	6.0
⑱~㉑	症例 シーティング 演習1~4	岸本 光夫 (重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎 リハビリテーション部 部長/作業療法士)	6.0
集合講習科目 合計			18.0

シーティングエンジニア認定試験

1.5

総合計

32.0

2023年度「第10回シーティングエンジニア養成講習会および認定試験」集合講習・試験日程

2023年度	【1日目】11月23日(祝木)	【2日目】11月24日(金)	【3日目】11月25日(土)
9:00~10:30		⑭ シミュレーション 採型(実習)1 西方 倫彰	⑲ 症例シーティング 演習 2 岸本 光夫
10:40~12:10	10:40~11:10 受 付 11:10~11:20 開講式	⑮ シミュレーション 採型(実習)2 西方 倫彰	⑳ 症例シーティング 演習 3 岸本 光夫
12:10~13:00	11:20~12:50 ⑩倫理とモラル 寺光 鉄雄	昼 休 み	昼 休 み
13:00~14:30	⑪ 身体支持部 ウレタン削りと張り調整 (実習)1 張り調整 山崎 雅幸	⑯ シミュレーション 採型(実習) 3 西方 倫彰	㉑ 症例シーティング 演習 4 岸本 光夫
14:40~16:10	⑫ シミュレーション 採寸(実習) 中山 康仁	⑰ シミュレーション 採型(実習) 4 (まとめ・質疑) 西方 倫彰	認定試験
16:20~17:50	⑬ 身体支持部 ウレタン削りと張り調整 (実習)2 ウレタン削り 田中 章宏	⑱ 症例シーティング 演習 1 岸本 光夫	16:30~16:45 閉講式

【講師】

岸本 光夫(重症児・者福祉医療施設ソレイユ川崎 リハビリテーション部 部長/作業療法士)

田中 章宏(有限会社であい工房/シーティングエンジニア)

寺光 鉄雄(一般社団法人全国福祉用具人材育成協会 代表理事/福祉用具プランナー管理指導者、介護支援専門員)

中山 康仁(株式会社さく工房 シーティング・車いす課 係長/シーティングエンジニア)

西方 倫彰(株式会社さく工房 代表取締役/シーティングエンジニア)

山崎 雅幸(株式会社シーズ 取締役/シーティングエンジニア)

第 10 回 シーティングエンジニア養成講習会 講義内容

①シーティングエンジニアの意義と役割 シーティングエンジニアの意義と役割について、医師の立場から話していただく。
②障害当事者にとって、車椅子とは何か 自立を最大限支援するために必要な用具の知識と技能を知るために、用具に何を望んでいるかやシーティングエンジニアはどうあって欲しいかについて、当事者の立場から話していただく。
③シーティングクリニック（チームアプローチの重要性） シーティングクリニックのありかた、チームアプローチの重要性ならびに、医師・セラピスト・工学技師・SEの役割について学習する。
④評価 発達障害から高齢者までの評価に関する内容を実習・演習に先立って復習する。 ○身体状況・障害状況からの問題点とその対策・対応一覧表
⑤～⑥シーティングにおける考え方とポイント シーティングにおける考え方とポイントを学習する。 ○評価から採寸までの考え方とポイント ○身体状況・障害状況からの問題点とその対策 ○姿勢の決定・背もたれ重視の考え方 ○脊柱側弯での前額面・水平面での支持の考え方と適用 ○装置に求められる機能
⑦フレーム構造と機能 フレーム構造毎のその機能的特長ならびに、メリット・デメリットを学習する。
⑧褥瘡予防と高齢者のシーティング 褥瘡発生のメカニズムを理解し、褥瘡予防のシーティングを学習する。ならびに高齢者のシーティングにおける留意点・ポイントを学習する。
⑨アクティブユーザのシーティング アクティブユーザを対象にした、車椅子の駆動ならびにシーティングの適合のポイントを学習する。
⑩倫理とモラル シーティングエンジニアとしての職業倫理とモラルについて、専門家を招いて学習する。
⑪・⑬身体支持部 張り調整とウレタン削り（実習） 実際に普通型車椅子やリクライニング型車椅子などを用い、人体ウレタンモデルや受講者がモデルとなり、張り調整を行うとともに、座面・パッド等を削り合わせる等の適合実習を行う。
⑫シミュレーション 採寸（実習） 採寸を行ううえでの留意点とポイントを学習するとともに、人体ウレタンモデルや受講者がモデルとなり、採寸の実習を行う。
⑬～⑯シミュレーション 採型（実習） 人体ウレタンモデルを使ってシミュレーションを行い、採型技術の向上とポイントを学習する。 ○人体ウレタンモデルの見方と特徴の解説 ○変形モデルそれぞれの身体状況・障害状況からの問題点を抽出・整理し、さらに採型のポイントを解説 ○使用目的・主対策点毎の対策特徴を理解し、シミュレーション(採型)を行う ○最後にまとめ・質疑の時間を取り、理解を深める
⑰～⑲症例シーティング演習 具体的な事例をもとに、ケース毎に姿勢を決定し具体的な装置をイメージしていく演習を行う。 ○具体的な事例を数例用意（各々の例毎に身体状況・障害状況からの問題点を整理） ○問題点を受けて、どのように対策し、どう対応していくのかを班ごとに検討する ○事例毎にセラピストの先生からコメントをもらう事でより深めていく

第10回 シーティングエンジニア養成講習会および認定試験 受講・受験 申請書

※必要事項および該当する□にチェックを記入してください

(申請日 2023年 月 日)

申請者	フリガナ		(生年月日)	
	氏名:	男・女	西暦	年 月 日
申請者 自宅住所	〒 _____			
電話連絡先	自宅	_____	携帯	_____
メールアドレス	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 所属先	※申請後の連絡に使用しますので、正確に記入してください。 _____@_____		
所属先	名称	_____		
	所在地	〒 _____		
	TEL	_____	FAX	_____
採型器 について	業務で採型器を 使用している <input type="checkbox"/> はい・ <input type="checkbox"/> いいえ	使用している 採型器	<input type="checkbox"/> ピンドット KISS シミュレーター <input type="checkbox"/> アシスト 採型器 <input type="checkbox"/> 川村義肢 採型器 <input type="checkbox"/> その他 (_____)	

< 受講資格確認 > ※申込後、10月30日(月)迄に実務経験事例報告1例の提出が必要となります。

◎ 車椅子・シーティングに関わる実務経験

・西暦_____年_____月より 2023年10月31日迄 _____年_____ヶ月

・実務… 製作・ 選定・ 調整・ 適合・ 処方・ 支給判定・ その他(_____)

・資格… 医師・ 理学療法士・ 作業療法士・ 義肢装具士・ その他(_____)

※実務および資格は、該当するもの全ての□にチェックを記入してください。

- (公財)テクノエイド協会主催「車椅子姿勢保持基礎講習」修了者
- (旧)車いす姿勢保持協会ならびに(一社)日本車椅子シーティング協会 主催
「車椅子・シーティング基礎講習会(旧車いす・シーティング技能者講習会)」修了者
- (旧)NPO法人 福祉用具適合技術協会 開催の「姿勢保持講習会」修了者
- (一財)啓成会「車いす・シーティング製作技能養成コース」修了者
- (公財)テクノエイド協会「福祉用具プランナー管理指導者養成研修」修了者
※上記研修にて、車椅子・シーティング基礎講習に該当する全科目を履修した者
- (一社)日本義肢協会主催「座位保持装置製作者認定セミナー」認定試験合格者。
- 下記いずれかの国家資格を有する者
 - 医師 ・ 理学療法士 ・ 作業療法士 ・ 義肢装具士

※ 上記いずれかの□にチェックを入れ、該当する講習会・セミナーの修了証または認定証、国家資格を有する場合は免許証の写しを本申込書とともにメール添付またはFAXで提出して下さい。

シーティングエンジニア認定試験	<input type="checkbox"/> 受験する ・ <input type="checkbox"/> 受験しない
資料等の郵送先	<input type="checkbox"/> 所属先住所宛 ・ <input type="checkbox"/> 申請者自宅住所宛
受講料・受験料等の請求先(請求書宛名)	<input type="checkbox"/> 所属先宛(<input type="checkbox"/> 弁当代のみ個人) ・ <input type="checkbox"/> 申請者個人宛

(協会使用欄)	受付	修了証等	事例報告
受講・受験番号			

E-mail: info@j-aws.jp FAX番号: 03-6435-0366